

警城時報

石城郡平町新田四丁目
編輯 佐藤 誠
印刷 石城郡平町新田四丁目
發行 石城郡平町新田四丁目
電話 一四七
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行十文字 一月一元 一月以上九折 三月以上八折 半年以上七折 一年以上六折
日刊 (日曜 祭日) 休刊

警城青年同盟會 會長に諸橋氏推薦

來る二十一日第二回總會 富田警視總監の講演

警城青年同盟會幹部會は十五日總監富田光雄氏に交渉中である。午後六時から四倉町に開き協賛役員改選は幹部會に於て會長にの結果來る二十一日午後一時から平町諸橋守次氏、副會長に赤津ら四倉町に於て第二回總會を開き兵衛、門馬倉次郎兩氏を推す役員改選其他を審議し終つて事になったが、氏の會長は最適當町明賢寺に於て會員の觀禮會任者であるとして會員一般も信を催し午後六時から講演會を頼し其就任を希望してゐるから開く事に決定した、講師は警視總監氏も結局快諾するにあらう。

花爛漫の平町で

土木請負業大會

終つて谷口樓で盛大な歓迎宴

第二十四回土木建築請負業組合大會は既報の如く濱街道工區主催で十五日午前十時から平町元石城郡役所に開かれた、開閉に次いで丸山慶治氏議長席につき左記議案を原案通り可決して休職、午後一時再開中土木課長、鈴木辰三郎氏等の祝辭演説あり、佐々木健一郎氏が會員一同に代つて答辭を述べ最後齊藤技師の道路に關する講演があつて午後二時閉會二時半から旅亭谷口樓で盛大なる歓迎の宴を張つた。尚ほ左記議案の請願委員は丸山慶治外七名を選挙した。

今度の自動車検査は 極力嚴重に行ふ

廢車を命ぜらるゝものが多い

十七日から四日間検査

石城地方に於ける自動車の發達は近年著しきものあり縣下を通じて素張らしいものありこれに伴ふ事故違反等は枚擧げにいとまあるに鑑みこれが取締には當局にても最大の努力を拂つてゐるがその原因として不完全なる自動車を操縦する事も事故頻出の起因として大いに取締らねばならぬ條項であるため常に厳戒を興へてゐるが競争激甚なるに相俟つて容易にこれが改善を行はれる機微がないので本年度の春季自動車々體検査は極力四倉管内も平野管内も含めて検査日数を延長し十七日から二十日まで四日間平町八幡小路舊警中グラウンドに於いて執行する事に成り検査車も百三四十臺に達するにあらうがその方針は前記の如き事情により飽くまで徹底を期すべく嚴重に行ふ筈なれば從來の検査と異なり乗合

進行中の列車から 飛び降りて慘死

花見の酒に酔ひどれて
あたら命を棒に振る

湯本町八入山炭礦坑夫佐藤善作作品展覽會、一般在校生製作手美(二〇)は十五日同僚數名と共に藝品バザーは十六日より三日間に平町に來り松ヶ岡公園で花見毎日午前九時より午後四時までにをなし酔ひどれて同夜十一時の開催する、管で荷品目は縮緬重臨時列車で歸宅に附いたが、途ね物百餘點外裁縫物、刺繡應用中列車が湯本、綴間の傾城トン造花クレイプバー、マクラネルに差しかつた際強か踏切メ細工、小細工物等各種手藝品した善美は突然暴れ出し進行中千餘點その他編物各種であるとの列車の窓ガラスを破つて跳ね降り慘死した。平署から伊藤司法主任出張検死した。

中田氏 奉納物謹製

今秋行はせらるゝ大嘗祭庭積机代物供納候補者に關しては兼てから縣當局で入選中の處に決した。

優良馬に 獎勵金

石城郡内の優良馬所有者左の八名に對し農林省から補助金を交付された。

- △七十圓宛 (大島柳三阪大竹)
- △五十圓宛 (山野) 上遠野山野新吉
- △三十圓宛 (山野) 矢内平藏(石谷)
- △二十圓宛 (梅野) 入遠野村折笠
- △十圓宛 (山野) 入遠野村折笠
- △十圓宛 (山野) 入遠野村折笠
- △十圓宛 (山野) 入遠野村折笠
- △十圓宛 (山野) 入遠野村折笠

紫雲英の 栽培獎勵

石城郡駐在神尾技師は過般來郡内の紫雲英作付可能見込反別を調査中であつたがその結果三千五百九十九町三反の可能見込地あり見つけた、而して又桑園の賀部)外四十四名、専修科小川能地は百三十七町に達してゐるトキ外六名、高等女子部藤村ナガ、現在石城郡に於て紫雲英及外三十名、裁縫教員養成科兼びザードウイッケンを栽培して修科を合せて橋本ヤスヨ外四十名の反別は約三分の一に過ぎず六名である。同様恒例の卒業製之は紫雲英の刈取期は春蠶上簇

自動車に觸つたのが因で イトコ同志の喧嘩

平町南町自動車營業正忠の弟芹治三週間の重傷を負はせた、平澤義雄(二二)は十四日午後九時警署で關係者を取調中である。頃自宅前で徒弟に當る平町田町大崎一郎(二二)が自動車に惡戯した事から口論を始め大崎一郎の頭部を下駄で毆打し全治三週間の重傷を負はせたが、之を知八日頃平澤義雄、平澤義雄所定隔離されたが、現在隔離舎に收容されてゐるものは合計三十名に達した。

米京主人 隔離さる

平町田町藝妓屋米京主人小齋五郎(三三)は十五日腸チフスと決定隔離されたが、現在隔離舎に收容されてゐるものは合計三十名に達した。

駒市場 表彰者氏名

石城郡産馬畜産組合主催の馬騾買市場は去る七日から十三日まで入遠野、田入兩村に於いて開かれ左の如き成績にて頗る良好なる結果を見てゐるが優良馬を出して表彰されたもの左の如し

- △入遠野 出頭總數二百八十五頭、總金額二萬四千四百五十圓、平均八十五圓七十八錢、牝馬最高百七十五圓、最低三十三圓、牡馬最高百四十五圓、最低三十一圓
- △田入 出頭總數百八十四頭、總金額一萬一千八百二十三圓、平均七十九圓八十八錢、牝馬最高百七十一圓、最低三十圓、牡馬最高百四十一圓、最低二十八圓
- △表彰 牝馬一等入遠野鈴木清三郎、田入藤川義一、二等石信大竹竹吉、荷路夫芳賀信太郎、三等磐崎市川倉吉、荷路夫藤川彌四郎、牡馬一等入遠野平子金繁、田入藤川春紀、二等上遠野小笹尚、大和田福太郎、三等入遠野折笠健太郎、田入上遠野清

筆劍合同 觀櫻會

平町町田町藝妓屋米京主人小齋五郎(三三)は十五日腸チフスと決定隔離されたが、現在隔離舎に收容されてゐるものは合計三十名に達した。

紫雲英の 栽培獎勵

石城郡駐在神尾技師は過般來郡内の紫雲英作付可能見込反別を調査中であつたがその結果三千五百九十九町三反の可能見込地あり見つけた、而して又桑園の賀部)外四十四名、専修科小川能地は百三十七町に達してゐるトキ外六名、高等女子部藤村ナガ、現在石城郡に於て紫雲英及外三十名、裁縫教員養成科兼びザードウイッケンを栽培して修科を合せて橋本ヤスヨ外四十名の反別は約三分の一に過ぎず六名である。同様恒例の卒業製之は紫雲英の刈取期は春蠶上簇

優良馬に 獎勵金

石城郡内の優良馬所有者左の八名に對し農林省から補助金を交付された。

- △七十圓宛 (大島柳三阪大竹)
- △五十圓宛 (山野) 上遠野山野新吉
- △三十圓宛 (山野) 矢内平藏(石谷)
- △二十圓宛 (梅野) 入遠野村折笠
- △十圓宛 (山野) 入遠野村折笠
- △十圓宛 (山野) 入遠野村折笠
- △十圓宛 (山野) 入遠野村折笠
- △十圓宛 (山野) 入遠野村折笠

中田氏 奉納物謹製

今秋行はせらるゝ大嘗祭庭積机代物供納候補者に關しては兼てから縣當局で入選中の處に決した。

